

「臨床検査技師の新たな挑戦—広がるキャリアと活躍の場—」

臨床検査技師の活躍の場は、病院内にとどまらず、その専門性を活かし、治験コーディネーターや胚培養士など、医療・研究・ライフサイエンス分野へと広がりを見せています。本企画では、「臨床検査技師の新たな挑戦—広がるキャリアと活躍の場—」というテーマのもと、臨床検査技師として異なるフィールドで活躍する3名の講師をお招きします。それぞれの「1日の業務内容」「やりがい」「この仕事を選んだきっかけ」についてご講演いただきます。

1) 病院で活躍する臨床検査技師

綾部市立病院 臨床検査科 四方 聡一郎 先生

2) 治験コーディネーターとして活躍する臨床検査技師

株式会社クリニカルサポート 水野 美香子 先生

※治験コーディネーター：

治験は、新たな医薬品や医療機器などの有効性・安全性を確認するために行われる臨床試験であり、治験コーディネーターはその実施を支える重要な役割を担う。検査値の正確な理解、医師や他職種との連携、被験者への説明など、臨床検査技師として培った知識と経験は治験コーディネーター業務において大きな強みとなる。

3) 胚培養士として活躍する臨床検査技師

医療法人 木下レディースクリニック 大野 浩史 先生

※胚培養士：

胚培養士は、不妊治療における体外受精や顕微授精などの生殖補助医療において、卵子・精子・受精卵の取り扱いや培養を専門的に行う職種である。生命の始まりに直接関わる繊細かつ高度な技術が求められ、臨床検査技師としての細胞・組織に関する知識や、精密な操作技術が強みとなる。

講演後には、リアルタイムアンケートを活用したパネルディスカッションを実施し、参加者の声を反映しながら臨床検査技師の未来像を考える機会を提供します。臨床検査技師を目指す学生が主体となって企画・運営を行います。学生以外の方もご参加いただけます。臨床検査技師のキャリアの広がりに関心のある方は、ぜひご参加ください。

フォーラム実行委員：藤原 麻有¹⁾、宮井 優²⁾

フォーラム担当学生：牛田 陽¹⁾、國政 佑斗²⁾、野々村 芽依¹⁾、山田 波那²⁾

1) 京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科

2) 京都保健衛生専門学校 臨床検査学科

(スタッフ：五十音順)